

科目名	仏教と人権 I					単位	2.0
担当教員	中村 薫						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	2410

●授業のテーマ
 仏教と差別問題

●到達目標

混迷する現代において、人のいのちはどのように扱われているのであろうか。誰もが差別はいけないことは知っている。にもかかわらず差別は依然として存在する。そんな中、「部落差別と真宗」について明らかにしていく。そして人権問題としてハンセン病についても学ぶ。

●学習内容(授業概要)

仏教と人権について考える。そこでは差別意識と実態について、社会科学的視点を導入して理解を深めていくのが、本講義の目的である。

具体的には、同和問題の基本的なことを学ぶ。特に西光万吉の「業報に喘ぐもの」、「よき日のために」を紹介し、「水平社宣言」について学ぶ。そして、戦争問題にも触れていく。

総じて、現代社会の諸問題が課題とならない仏教とはと問うていく。そこではビデオ鑑賞等によって学ぶ。

●学習内容(授業計画)

1. 仏教と人権
2. 同和問題
3. 部落解放運動
4. 部落差別の実態
5. 日本中世の部落差別
6. 日本近世の部落差別
7. 日本現代の部落差別
8. 西光万吉の「業報に喘ぐもの」、
9. 「よき日のために」
10. 「水平社宣言」
11. 住井すゑ「90歳に人間宣言」
12. 厚い壁
13. 厚い壁
14. 仏教と平和
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、資料を調べ、授業後は400字程度に授業の要点、また学んだことを纏めておくこと。

●成績評価方法・基準

まとめのレポート30% テスト70%

●テキスト（必携）

いのちを差別するもの（法蔵館）600円

いのちの根源（法蔵館）1300円

●参考文献／その他

授業中に提示

●履修上の注意

授業中に提示